

令和2年度 第2回学校評議員会議事録

1 日 時 令和3年2月15日(月) 13:30~15:00

2 場 所 本校 中会議室

3 出席者 学校評議員 4名
学校職員 校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導部長、
進路指導部長、厚生部長、専攻科長

4 学校長あいさつ

今年度を振り返ってみて、コロナ禍で各行事が中止または縮小を余儀なくされた苦しい状況の中で、3年生は見事に100%進路実現を果たしてくれた。学校評価アンケートでも前向きで肯定的な評価が多かった。また、これほど不登校の生徒が少ない学校に勤務したのは初めてであり、本校で一生懸命に学習活動や部活動に取り組んでいる生徒たちの姿を見ると校長として喜ばし限りである。本日は、ぜひ忌憚の無い御意見や御提言をお寄せいただき、今後の学校運営に生かして参りますのでよろしくお願いしたい。

5 令和2年度 本校の教育活動について

(1) 教務部

- ① 確かな学力を保証するために、5段階評価のC評価とD評価を0%になるように取り組んでいる。
- ② 特別な支援が必要な生徒について、教育相談部や学年会と連携して中学校からの情報交換シートを介して状況の把握に努めている。
- ③ 中学生一日体験入学は、コロナ感染症対策のため、引率・保護者の参加は無しとし、参加中学生は2学科の見学とした。

(2) 生徒指導部

- ① コロナ禍で多くの行事が中止となったが、スポーツ大会は9月に2日半の日程で開催し、生徒も楽しんでくれた。
- ② 校内にWi-Fiが設置されたことで、次年度に向けて情報モラル教育を推進する必要がある。
- ③ 生徒会執行部は、1月にオンラインで盛岡工業高校生徒会との交流を行い、良い刺激を受けた。「いじめ防止ポスター」を作成して校内に掲示した。

(3) 進路指導部

- ① コロナ禍で就職の統一選考日が1ヶ月延びたが、生徒は余裕を持って準備できた。
- ② WEBカメラを4台準備してスムーズに対応できた。

③ 一次内定者は9割であった。現2年生の就職希望は県内が増えている。

(4) 厚生部

① 保健室利用者は、10月がピーク。合計利用者は昨年並みの1,000件程度を見込んでいる。

② インフルエンザ罹患者は1名で、全国的にも流行が見られない。マスクの着用、手指消毒の徹底が一因と考えられる。

③ 今年度は、自転車通学時のケガが多かった。

(5) 専攻科

① 2年生10名全員、県内企業への就職が決まった。うち1名は岩手県教育委員会職員（高校実習教諭）に初めて採用された。

② 2年生の終了研究発表会はコロナ感染対策のため、人数を限定して実施した。

③ 来年の入学予定者は8名。

(6) 総務部

① コロナ禍によりPTA総会・体育後援会総会は中止とし、書面審議で代替した。

② 研修・委員会事業の企業見学会・母親委員会研修会・研修旅行は予定どおり実施でき、好評であった。

③ PTAに関連する学校評価アンケート結果は、概ね昨年度より高評価であった。

6 意見・要望

(1) 本校の「技術家庭」の授業では木工しか取り扱わなくなってしまった。黒工のPRの手段として、中学校への「出前授業」ではぜひ金属加工をしてほしい。

(2) 専攻科の修了研究発表会の内容はレベルが高く、卒業後の進路を含めて近隣の中学校へ広く宣伝した方がよい。

(3) 特別な支援を要する生徒については企業でも課題となっている。早い段階で情報を企業にも提供してほしい。

(4) 女子トイレ等を整備し、施設設備の充実を宣伝して女子生徒を増やすことで、全体の志願者が増加すると思うので、環境整備をぜひ実現してほしい。

(5) 動画配信は中学生にとって非常に興味があるので、WEBで実習の様子を配信してみてもどうか。また、その制作を生徒に行わせてみるかどうか。

(6) 私立高校は中学校訪問を盛んに行っているのでも、黒工でも積極的に訪問をしてアピールしてみてもどうか。

(7) 保護者から「体育用のジャージ」を北上市内の店でも買えるようにしてほしいとの要望があったので検討してほしい。

7 感想

評議員A：学校評価アンケートの PTA 関連は昨年度より評価が高かったので安心した。女子トイレの増設は是非実現してほしい。

評議員B：中高連携をさらに推進していきたい。黒工の立地条件を考えると花巻地区の中学生に対して積極的に PR をして、志願者の増加につなげてほしい。

評議員C：学校の課題を学校だけで抱えずに、ぜひ地域や企業や OB と連携して解決してほしい。いろいろな方が力を貸してくれるはずである。

評議員D：子どもの数が減っているなので、市内の高校で争奪戦になっている。志望者増加の対応を真剣に考えていただきたい。

8 学校長より謝辞

本日は、力強い応援をいただき感謝するとともに大変心強く感じた。北上川流域ものづくりネットワークをはじめ多くの組織や人々から注目され期待されていることも実感できた。本日いただいた御意見や提言を今後の学校運営に生かし、素晴らしい生徒が揃っている本校をますます良い学校にしていきたい。今後も本校の発展のために御尽力を賜りたい。